

## 落慶法要を終えて

去る3月21日(火 春分の日)午後3時より厳かに本堂改修落慶法要・先祖供養の式典が執り行われました。縁者の中谷元代議士と令夫人 地元の森田俊和代議士を来賓にお迎えしての意義深い開催となりました。あくまでも少数精鋭にしてアットホームに執り行うことができましたこと主催者として安堵しております。これで漸く一段落をして伽藍整備に一定の目処が立ったところです。まだまだやることはキリがありませんが一通りの先代から受け継いだものを全面改修をすることは出来ました。当日の写真集と動画も作製中のため興味のある方には提供できるかと思えます。後半の住職人生に弾みをつけさらなる飛躍に向けて一步踏み出すことはできるものと自負しております。全体的に活気は出ており盛り上がりは来ております。このお彼岸中の人出も想像以上に多く駐車場は常に賑わっておりました。大盛況の落慶式典ではあったと思えます。私は費用をかけないで催しをすることをいつも目標にしております。来られる僧侶のみなさんにも車代だけで奉仕的にお勤めをしてもらってます。その時にも寄りますが。参列をしていただいた参加者のみなさんにも供花、祝賀、香典等のご辞退をさせていただいて気軽に足を運んでもらえるようにしました。特に議員さんは交際費が嵩みます。私たち支援者は負担をかけさせないように配慮をする必要はあります。余計な心配をさせないでおいでいただいた方に有意義な時間を提供することがホストの勤めです。これが究極のおもてなしです。私流の接待法です。コストパフォーマンス経営のため(檀)信徒に迷惑をかけることも一切ありません。経済の好循環はつくり出せています。そのため参加者も気遣いなく楽しめます。茶話会も大盛り上がりでした。お土産もたくさんお持ち帰りいただけました。いつも僧侶たちも和気藹々として楽しそうです。気の置けない中です。警戒心も腹の探り合いもない僧団(サンガ)です。心

から付き合える仲間です。私が理想とした僧団形成となっています。新寺院の形態です。これを未来の画期的寺院モデルにしていければ幸甚です。今後は整備をされた伽藍と境内によってますます利用者は増えてくると思われます。今の間によく細いところまでの点検に怠りなく手を入れて隅々まで行き届いた寺院にしておこうと思います。人的にも充実した最近では珍しい寺院運営が出来ているものと思われます。時代の変化に対応した最新鋭の寺院システム化には成功しているものと思えます。ハードとソフトの両面から攻めて車の両輪とするに越したことはありません。それにエンジンを加速化すればどんな時代でも乗り切れます。人材面でも報酬や勤務時間 処遇も自己判断 自己申告 自己評価で決めてもらえればよいのではと思案中です。人生設計も自己責任に越したことはありません。これからはぶら下がりの人生ではなく自己決定 自己判断でもって信を問う攻める働き方改革の時代です。責めを負うことも人生です。それによって自分自身に磨きをかけてもらいたいものです。どうだ この俺を判断してくれでよいと思います。正々堂々と。嘘偽りなく。それによって人生の充実と喜びを得て欲しいのです。仕事が遊びの私です。勉強が趣味の私です。だから毎日が楽しいのです。そんな人たちの集まるお寺に今後もしていきたいと思えます。落慶式 本当に楽しくて面白かったです。私は来てくださった方が得をして心から喜びまた来たい、明日から生きる勇気をもらった 少しは気が楽になったと思ってもらえるお寺にしていくことが目標です。ご協力をいただき参加をしてくれたみなさんに心から御礼を申し上げます。

合掌

令和5年3月23日

見性院住職